

# かいつのじゅ

一宮市立今伊勢小学校三年

岩田 陸斗



ぼくの、お兄ちゃんのかいとは、生まれたときから、耳が聞こえません。

だから、いっしょの小学校には通えません。

それで、ぼくは、手話を使って話をしています。手話は、ちょっとむずかしいので、お母さんの手話を見ておぼえました。

でも、手話の中には、ぼくがまだ知らないものが、いっぱいあると思います。

かいととけんかをする、そのあとで、お手紙をくれるときがあります。ぼくはそのときだけ、なぜかとってもうれい気持ちになります。

かいとは、耳が聞こえなくても、リコーダーやけんばんハーモニカができます。聞こえなくてもできるなんて、ぼくは、とてもすごいなと思います。お母さんは、ぼくたちがけんかをする、弟とぼくに、「かいとに耳を—こずつあげなさい」と言います。

ぼくは、かいとが、耳が両方聞こえなくても生きているなんて、とてもすごいと思いました。また、国語や算数、生活科や図工もできるなんて、がんばっているなど一年生のときから思っていました。去年、

交流でかいとが今いせ小学校に来たとき、ぼくは、とても心配していましたが、友だちがかいとにやさしくしてくれたのを見てほっとしました。

かいとがないていないか心配でしたが、教室に入ったときに、ぼくの顔を見つけると、にこっとわらってくれました。

ぼくは、かいとのが大スキです。手話をもっと勉強しておぼえて、かいとといっしょに会話をしたいです。

